

各 位

上場会社名 株式会社 ホーブ
 代表者 代表取締役社長 政場 秀
 (コード番号 1382)
 問合せ先責任者 取締役経営管理部長 吉田 周史
 (TEL 0166-83-3555)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年8月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年6月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年7月1日～2019年12月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 1,916 | 72 | 72 | 60 | 79.08 |
| 今回修正予想(B) | 1,544 | 24 | 25 | 22 | 30.11 |
| 増減額(B-A) | △372 | △47 | △46 | △37 | |
| 増減率(%) | △19.4 | △65.9 | △64.8 | △61.9 | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (2019年6月期第2四半期) | 1,806 | 26 | 28 | 27 | 36.05 |

2020年6月期通期連結業績予想数値の修正(2019年7月1日～2020年6月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|-------|-------|-------|-----------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 3,798 | 99 | 98 | 79 | 104.44 |
| 今回修正予想(B) | 3,425 | 51 | 52 | 42 | 56.13 |
| 増減額(B-A) | △372 | △47 | △46 | △36 | |
| 増減率(%) | △9.8 | △47.9 | △47.2 | △46.3 | |
| (ご参考)前期実績 (2019年6月期) | 3,591 | 46 | 49 | 44 | 58.59 |

2020年6月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2019年7月1日～2019年12月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 1,869 | 71 | 71 | 59 | 78.55 |
| 今回修正予想(B) | 1,503 | 24 | 25 | 22 | 29.94 |
| 増減額(B-A) | △365 | △46 | △46 | △37 | |
| 増減率(%) | △19.6 | △65.6 | △64.7 | △61.9 | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (2019年6月期第2四半期) | 1,760 | 25 | 26 | 26 | 34.77 |

2020年6月期通期個別業績予想数値の修正(2019年7月1日～2020年6月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 3,700 | 80 | 80 | 67 | 88.46 |
| 今回修正予想(B) | 3,334 | 33 | 34 | 30 | 40.21 |
| 増減額(B-A) | △365 | △46 | △46 | △36 | |
| 増減率(%) | △9.9 | △58.1 | △57.4 | △54.5 | |
| (ご参考)前期実績 (2019年6月期) | 3,506 | 40 | 42 | 39 | 51.68 |

修正の理由

(第2四半期累計期間連結業績予想修正の理由)

主力であるいちご果実・青果事業のいちご果実販売において、自社品種「夏瑞／なつみずき」の知名度が向上したことで生食用、業務用ともに販売が堅調に推移いたしました。しかしながら、自社品種契約生産者が減少したこと、他品種も含めた夏秋いちごの主力生産地である北海道において7月末頃から8月上旬にかけて高温環境が続いたことが原因で、その後の出荷量が極端に減少いたしました。9月下旬まで品薄状態が続くこととなり、予定していた販売数量を確保することができませんでした。

また、最需要期となるクリスマス期は、主に関東地域において、促成いちごの定植後に訪れた台風の影響が懸念されましたが、それ以上に定植後の長期にわたる曇天・日照不足が株の初期生育に影響し、市場へのいちご果実の入荷数量が少ない状況が続きました。入荷数量が少ないことで、本来であればいちご市場相場価格は高騰しますが、近年のクリスマス時期の高値の影響を受け、各メーカーにおいていちごの使用数量が減少し、市場相場価格は前年よりも安値となりました。この各メーカーのいちごの使用数量減少に伴い、販売数量も当初予定に比べて減少いたしました。

以上の理由により、いちご果実・青果事業の売上高および利益が当初の予定を下回ったため、第2四半期累計期間連結業績予想を修正いたします。

(通期連結業績予想修正の理由)

主力であるいちご果実・青果事業においては、いちご果実の最需要期であります12月のクリスマスの影響により第2四半期連結会計期間までの仕入及び販売が、他の四半期連結会計期間に比べ多くなる季節的変動があります。また、馬鈴薯事業において販売の中心となる春作種馬鈴薯は、その植付時期の影響で販売時期が第2四半期連結会計期間に集中する傾向にあります。このため、第2四半期までの業績を踏まえて下半期の見通しを勘案した結果、第2四半期までの落ち込みをカバーするには至らないと予想されることから、連結の業績予想を上記のとおり修正いたします。

(第2四半期累計期間個別業績予想修正の理由)

第2四半期累計期間連結業績予想修正の理由と同様であります。

(通期個別業績予想修正の理由)

通期連結業績予想修正の理由と同様であります。

以上